



年 組 名前

道新 ワークシート

雪の重みで倒れた草の茎にとまるシマエナガ



シマエナガ

ふっくら丸い人気者

カムイの大地の
妖精たち

「ジュルジュル、リリリ」。小鳥のかわいらしいさえずりが、弟子屈町の森の中から聞こえてきた。シマエナガだ。

真っ白なシマエナガは体長14センチほど。ふっくらした丸い姿はゆきだるまを連想させ「雪の妖精」と呼ばれる。野鳥愛好家のみならず幅広く愛される小鳥で、毎年のように写真集が出版されるほか、ぬいぐるみなどさまざまなグッズのデザインになる人気者だ。

数羽から十数羽の小さな群れで木から木へ移動し、人通りの少ない週末の早朝には、JR釧路駅周辺や繁華街の街路樹に現れることもある。夏は小さな昆虫などを食べているが、冬は小さな種子や樹液などをエサにして生活している。

名前のシマはシマフクロウと同じく、北海道を意味する島から名付けられた。真冬の道東ではシマエナガを本命に探す愛好家も多い。

(茂忠信、写真も)

2021年2月15日(月)夕刊 釧路・根室版 3P(記事は一部再編集しています)

① 記事の中で説明されている「シマエナガ」の情報を、自分で観点をたてて、表の形に整理しなさい。

② 問1で作った表をもとに、「シマエナガ」について、小学生向けのクイズとその答えを作りなさい。
なお、必要に応じて、小学生に伝わりやすいように言葉を言い換えること。